



MINATO-TOKYO

みなとユネスコ 会報

Bulletin

MINATO UNESCO ASSOCIATION NEWS & CALENDAR

ISSUED BY/MINATO UNESCO ASSN. 16-3,SHIMBASHI 3-CHOME MINATO-KU TOKYO 105-0004/HIROSHI NAGANO PRES.
発行所/港ユネスコ協会 〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3 Tel: 03-3434-2300 Fax: 03-3434-2233 発行人/永野博
Mail: info@minatounesco.jp http://minato-unesco.jp

2020年9月1日発行 第161号

目次

P1 巻頭言	P3 新組織の設置、事務局の人事異動
P2 笠原講師への謝辞、日本語教室の開講	P4 事務局便り、編集後記

新型コロナウイルス感染症により明らかになった今とこれから

港ユネスコ協会 会長 永野 博



今年は年初より新型コロナウイルス感染症の話題が世界を覆っている。メディアに限らず私たちもコロナに触れずには一日が終わらない。戦争を経験したことのない75歳以下の人々にとって外出規制は青天の霹靂だし、こんなことが短い人生の間で発生するとは全く予想していなかった。

この新しい感染症が脅威となったことで顕在化したことがいろいろある。科学技術立国を標榜し、情報技術でも先端を走っていた日本は、2001年にe-Japanを宣言し、電子政府の設立を高らかに唄った。しかし20年たった今、感染者の連絡をファックスで行い、届いた情報を書き直してリストを作っているという情けない状態が明らかになった。民主主義に基づく法治国家であることへの疑いもなかったが、外出規制の仕組みはすべてお願いベースで、従うか従わないかは法律とは関係なく個人の判断になる。すると自粛警察といういやな活動が現れた。国と地方自治体の権限がどこで区分されているのか不明確なので、とるべき措置が遅れ、自治体ごとにばらばらになる。都道府県により重症者の定義が異なるのでは、そもそも統計の数値が意味をなさない。ポジティブに考えればと、これまでの不作為を是正できる恰好な機会がきたということになる。

政府の新型コロナウイルス感染症対策に多くの人は満足していない。その原因は、経済を動かしたいという思いがある中で、政府がどのような根拠で何をしたいのかをはっきり言わないことに原因がある。このような事態が起こると感染症の専門家の意見を聞くことになるが、専門家が本当に何を語っているのかが外に見えてこない。外に出てくるのは政府や政治家と調整を経た後の話である。すると国民は専門家の考えがわからず疑心暗鬼となって、政府への信頼が低下する。ひいては専門家への批判も出てきかねない。専門家会議の議事録が作られない、公開されないというもおかしな話である。専門家と政治家の考えが異なるのは、両者の背景が違うので当然のことなので、専門家の考えがどのようなものかがわかり、それに対して政治家が別の理由でその専門的意見を咀嚼したうえでどう決断したかがわかれば、国民はそれなりに納得するし、議論をすることもできる。そのような議論の経過を公表しないのであれば、政府も政治も国民目線から遊離していると言わざるを得ない。

世界の人々に脅威を与えている今回の感染症を契機として、私たちの生活や社会についての新しいシステムの模索が続けられていくことになる。これは単に、リモートワークができる、通勤の負担が少なくなる、ということだけでなく、何を大事だと考えるのかという価値観の転換、ひいては私たち一人一人がすべてのことに対して自らの考えをしっかりと持つことを求められることになる。そのためには日頃から自由に語り合い、意見を戦わせる場が不可欠である。私たちの草の根的ユネスコ活動が貢献すべき場面であることは間違いない。

「英会話中級講座」講師笠原三郎様御勇退に際する感謝の言葉

このたび、「初中級英会話クラス」の先生として、4年間にわたりご尽力頂きました、講師の笠原三郎様が御勇退されることとなりました。



笠原先生（右）と筆者

笠原先生との出会いは、「英会話初中級講座」設置に始まりました。私は、5年前、港ユネスコ「英会話初級講座」に長年在籍し、更なるステップアップと学習環境の変化を求め、新たな英会話クラスを事務局に要望しました。

この結果、要望を全て満足する新たな「初中級英会話講座」（途中「英会話中級講座」に変更）をお引き受け頂いたのが笠原先生で、生徒から「Sammy先生」で親しまれておりました。

笠原先生は、温和人柄と英語他複数の外国語に高度な能力を有しておられ、毎回の学習内容は、読解、文法、ヒアリングなどスキルアップに最適でした。

毎週の宿題提出は大変でしたが、教室はいつも明るい雰囲気、かつ褒める指導で、常に生徒のモチベーションを高めた素晴らしい環境で学習できたことをクラス全員心から感謝と御礼を申し上げます。

今年4月の春期コースは感染防止のため、ビデオレッスンを導入した笠原先生のご努力と挑戦に深謝致します。本当に有難うございました。君子万年！

（英会話中級講座受講生 石井義明）

日本語教室の開講

当協会では本年10月3日（土）から新たに日本語教室をスタートすることになりました。この新プログラムを企画し、日本語講師を務める会員の田川純子さんに活動内容を紹介して頂きました。



ある夏休み 私は期待に胸を膨らませながら、台湾の国立大学の1ヶ月中国語夏季集中講座に参加しました。しかし、1ヶ月の講座の内、何と1週間は発音の練習、只管「マー、マーマ、マーア」の練習だけで、屋台に食べに行っても「いくらですか？」も言えませんでした。

教師側からすれば、発音や基本文型から順序よく学習するのが語学学習の正道と考えているのかもしれませんが、学習者から見たら、「すぐに使える表現を教えてよ!!」であり、教師と学習者の意図するもののギャップに意気消沈させられました。

しかし、これは私に「日本語教師として、日常すぐに使える日本語を教えるゾー!!!」と決心させた出来事でした。

MUA日本語教室においては、長年の大使館員やその家族、駐在員の方々、北欧からの学生へのレッスンの経験を生かし、学習者の状況、目標等を勘案し、「テキストブック」と「生きるための日常表現」を紹介したいと思っております。

新しい組織の設置について

2020年7月3日に開催された理事会において、当協会会則に則り、下記2つの新しい協会運営組織の設置が決定されました。

1. 経理チェックグループ

目的：港ユネスコ協会は港区の予算による支援を受けているため、常に経理を適正に行うことが求められている。今回、主として2019年度の経理が適切に行われてきたことを確認するため、本グループを設置する。

リーダー：田部揆一郎 監事

副リーダー：中川統夫 監事、奥村和子 副会長

構成員：補助金使用委員会担当者（委員長、副委員長、または担当常任理事）
新福彰二 事務局長

2. 会則改正グループ

目的：港ユネスコ協会の会則は昭和56年に施行され、以来、4度の改正（最終改正は平成28年）を経て、現在の会則となっている。会則は、常に社会状況と整合するものでなくてはならないので、このたび本グループを設け、改正の必要性の有無などについて検討する。改正が必要となる場合は、次回の総会における審議案件となる。

リーダー：菊地賢介 副会長

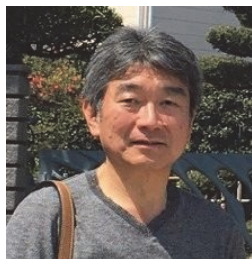
副リーダー：峰尾茂克 理事

構成員：中前由紀 理事、新福彰二 事務局長

事務局の人事異動

本年3月末を以って津野久志事務局長が退任され、4月には事務局員の高橋郁子さんも辞職されました。慎重に後任者のリクルートを進めた結果、後任の事務局長には新福彰二（しんぷくしょうじ）さんを、また、事務局員には児玉佳子（こだまけいこ）さんをお迎えしました。おふたりのご活躍を期待し、以下に簡単な自己紹介をお願いしました。

新福事務局長：



6月に入所しました新福です。「花は霧島、たばこは国分」おはら節で知られる鹿児島県霧島市の出身で前職は保険会社です。鹿児島は、海から直接そびえ立つ桜島、世界遺産屋久島など見どころは満載ですが、知覧の特攻平和会館も有名です。出撃前の若者の本音に感情移入して涙が止まらなくなります。これまでユネスコ活動にはほとんど無縁でしたが、その精神を学び皆さまの活動の一助となるよう取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

児玉事務局員：



こんにちは。6月に入所しました児玉佳子です。以前は金融機関を中心にお仕事しておりましたが、現在は今年飼い始めたボーダーコリーと家族の世話に明け暮れる毎日です。事務所にいる時間がほっとできる貴重な時間になっていますが、エネルギッシュな会員の皆様に良い刺激を頂きながら楽しくお仕事を覚えています。まだまだ不慣れなことも多くご迷惑をおかけすることもあります。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局便り

【ようこそ新入会員】個人会員：松尾寿美子さん

【今後の事業予定】

- ☆ 9月27日(日) 世界の味文化紹介「薬膳料理」
講師：山口由美子(国際薬膳師・調理師、福岡大学「ケアメンズキッチン」講師)
場所：リーブラ料理室
- ☆10月3日(土) 日本語教室(第1回)
講師：田川純子(日本語教師)、場所：港ユネスコ協会事務局
- ☆10月15日(木) 第1回国際理解講演会「古代ギリシャの歴史と神話と世界遺産」
講師：友野智子(世界遺産アカデミー認定講師)、場所：リーブラホール
- ☆11月21日(土) 「盆石」実演と体験
講師：水野賀弥乃(ゲッシュタルト・セラピスト)、
窪田麻里(帝国ホテル・アンティークジュエリー店勤務)
場所：港区生涯学習センター305号室
- ☆12月5日(土) 書道体験教室 講師：金田翠夢(毎日書道展会員)
場所：港区立生涯学習センター304号室
- ☆12月13日(日) 第4回 日本語スピーチコンテスト
テーマ：①「日本って、どんな国 何が一番興味がある?」、②現実化する気候変動に
思うこと、③コロナで、あなたの生活はどう変わりましたか?
場所：リーブラホール
- ☆ 1月23日(土) 茶の湯体験教室 講師：松村宗幸(裏千家 専任講師)
場所：港区立生涯学習センター203号室

なお、今年度の「みなと区民まつり」は中止となったため、ミニバザーへの提供品は受付けておりません。座禅体験教室については、開催日時が確定しだい当協会の下記サイトに掲載いたします。

【ご協力をお願い】

- ・日本ユネスコ協会連盟の東日本大震災子ども支援募金は、常時受け付け中です(MUA事務局まで)。
- ・同連盟の「首里城復興ユネスコ募金」は、2020年10月末日までMUA事務局で受け付け中です。

[編集後記]

- ・災害の多い今日この頃、台風シーズンも到来していますが、昨今、常識を上回るリスクの想定と対策が必要になっています。防災、備蓄、命を守る行動や被害の拡大防止、避難先と避難方法の確認、家族間の連絡方法など対策をしっかりと整えておきましょう。(新福彰二)
- ・新型コロナ感染拡大防止の観点から、多くの活動が制限されてきたが、様々な防止策をとりながら、徐々に国際的な活動にも再開の動きがみえることは、明るい兆しといえるのではないかと。(前田幹博)
- ・コロナによる運動不足から子供達の脚が弱っているとか。当方は加齢によるボケの進行と熱中症への感度低下も抱えているが、日没後の散歩で何とか機能不全をくい止めたいと願っている。(棚橋)

港ユネスコ協会事務局 (火～金 10:30～17:00)

〒105-0004 東京都港区新橋 3-16-3 TEL03(3434)2300 TEL・FAX03(3434)2233

Eメール：info@minatounesco.jp ウェブサイト：<http://minato-unesco.jp>